

## ライティング講座・プレゼンテーション講座 開催！

### ライティング講座

9月21日（金）長崎大学大学教育イノベーションセンターの當山明華 助教をお招きして「ライティング講座」を開催しました。SGH課題研究のゴールである「論理的なレポートの作成」に向けて、「論理的に書く」とはどういうことかについてお話いただいた後、演習として「事実」「意見」「心情」を見分けるための具体的なワークに取り組み、生徒からは「意見と心情の違いが分かった」「事実や意見は具体的に書くことが大切である」などの感想が聞かれました。次に行った「仮想大学の入試問題の解答例」のワークではより一層真剣な姿勢で取り組んでいました。「解答例」から、相手を説得させることのできる解答の書き方や、具体的な意見の出し方などを多く学び得たようです。

この講座を通して、生徒は論理的な文章を書くために心掛けるべきことを知ることができたようです。今回学んだことを生かして、生徒たちはレポートの完成を目指します。



### プレゼンテーション講座

10月24日（水）長崎大学地域教育総合支援センターの矢野香 准教授をお招きして「プレゼンテーション講座」を開催しました。まず「プレゼンとはプレゼントである。」という言葉のもとに、プレゼンテーションは相手のことを考えてするものだということを教えていただきました。生徒は「プレゼンとスピーチの違いが分かった。」「聞き手中心のプレゼンテーションを作るように心がけることで効果的に伝わる。」「自己中心的なプレゼンは相手に何も伝わらない。」などの気づきがあったようです。

また、言語表現（何を話すか）と非言語表現（どのように話すか）を分けて考えることと伝わるプレゼンをするには「相手は誰か。目的は何か。結論は何か。」の3点を意識してプレゼンテーションを構成することが大切であることをわかりやすく説明していただきました。分かりやすい話し方として、PREP法（プレップ法: Point Reason Example Point）を紹介していただき、その例として3つの班が事前に提出していた課題を使って実際にプレゼンテーションを行い、その後PREPLP法（プレップエルピー法: Point Reason Example Passion Let's Please）を用いてプレゼンテーションを組み立て直す演習を行いました。「これらの手法を使うことで相手を巻き込み、人を動かすプレゼンができるようになった。」「大枠から話すことで相手に効果的に伝わるのが分かった。」「私たちが生きるグローバル社会では言葉でハッキリ伝えるプレゼンは不可欠であると思うので、すごくためになった。」など、プレゼンテーションのコツを聞いて多くの喜びの声がありました。

これから12月の中間発表会に向けて、プレゼンテーションの準備に取りかかります。

